

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	WISDOM学院稲沢教室	公表日	令和8年3月16日
------	--------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		天候により運動場を活用したり、室内環境の構成を見直したりして、利用者さんが伸び伸びと過ごせるように対応している。	運動療育に取り組むスペースも活動内容や天候により運動場も有効に活用していく。外の環境も構成を見直していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		玄関前や室内には階段があり、送迎車の内装からも車いすの方にご利用いただくのは難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		アルコール消毒をはじめとした丁寧な清掃を日々心掛けています。子供たちの年齢、活動の内容により、適宜環境構成を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		2階にある支援室を音に過敏な利用者さんや中学生以上で個室対応が望ましい利用者さん、クールダウンが必要な利用者さん等、様子を見て臨機応変に個室として対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		日々の打合せにより、振り返りの時間を設けて支援の見直し、次回はどのようにしていくかの話し合いを繰り返している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1度適切なタイミングで保護者の方に評価表を配布し、弊社の支援を評価していただき、回答を職員で共有し、できる部分から改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の打合せにより、振り返りの時間を設けて支援の見直し、次回はどのようにしていくかの話し合いを繰り返している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		運動療育を専門にした講師を招いて、現場に適した環境、運動内容を選択し療育方法の研修会を開催した。	外部研修では開催日時により営業時間外や休業日に当たった場合に出席できないスタッフがでてしまうこと。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントについては詳しい項目に分けて、弊社だけでなくご家庭、学校での姿なども考慮している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援後や支援前などに時間をつくり、モニタリングの時期に情報交換や意見交換、共有の場として設定している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントについては詳しい項目に分けて、弊社だけでなくご家庭、学校での姿なども考慮している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		毎月の予定表をベースにスタッフで利用者さんに合った活動内容を季節感やタイミングを受けて立案している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		スタッフだけでなく利用者さんにも意見を聞きながら子供たちを中心とした支援内容に努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個室を適切に活動し、個別、小集団の支援が行えるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		利用者さんの体調や前日の様子もきちんと踏まえた上でいろいろな状況を予測し、その場合はどのように対応していくかを細かく確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		日々の打合せにより、振り返りの時間を設けて支援の見直し、次回はどのようにしていくかの話し合いを繰り返している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		サービス担当者会議が行われるときには、必ず該当者の情報を共有確認したうえで参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		近隣の医療機関と協力医療機関として提携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じた情報共有の機会を作っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		市内の連絡会に参加時ファシリテーターの方とお話する機会を積極的に作っている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		長期休暇中は学童指導員の方とも連絡を取り、デイでの様子を共有したり、児童館にも外出する機会をつくり、地域の子供さんとかかわれるようにしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時やLINE、電話などその時に一番いい形で利用者さんの状況を報告、相談、共有できるように努めている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問やLINE、電話などその時に一番いい形で利用者さんの状況を報告、相談、共有できるように努めている。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の予定表をベースにスタッフで利用者さんに合った活動内容を季節感やタイミングを受けて立案し、利用者さんにも分かりやすいように工夫して発行している。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		聴覚障がいに特化したデイスサービス等に見学や情報交換する機会を作り配慮の仕方を学んでいる。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		事前アセスメント時にしっかり確認している		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○			該当者なしのため
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットに該当するかを含めてスタッフで打合せする時間を取り対策について考え実行している。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				